

YOUNG BLOOD

心ひとつに ～仲間とともに明るい未来へ～

発行責任者：JR連合 青年・女性委員会 議長 鶴石 貢 編集責任者：鈴木 教仁

青年女性委員会の運動強化にむけて

11月15日(金)、全国から青年・女性委員会(以下、青女)を組織している7つの地方協議会 から代表者が集まり、JR九州労組中央本部会議室においてJR連合青女「第4回幹事・地協代表者学習会」を開催しました。

第1部は、JR連合青女 鶴石議長が、地協の現在の組織状況をはじめ地協の役割と期待することについて講義を行いました。講義では、地協で単組やグループの枠を超えた横のつながりの活動を展開し、JR産業の一体感の醸成を行うことの必要性を説くとともに、地域での連帯強化をきっかけとして民主化当該単組を支援することで、組織拡大・民主化闘争完遂に繋がる旨を説明しました。その後、各地協から現在の取組や課題を共有し、JR連合と各地協が一体となって課題解決にむけて活動展開していくことを確認しました。

第2部では、JR連合執行部との総対話行動を実施しました。冒頭、荻山会長より挨拶があり、国鉄からJRへと分割民営化された直後の状況など、ご自身の体験談に触れつつ、労働組合や労使関係の「あるべき姿」について述べられました。

その後、JR連合執行部との総対話行動として、グループディスカッションを行いました。青女参加者からは普段活動している中での課題や改善点について発言をし、運動のさらなる展開にむけた思いを訴えました。JR連合執行部からは、ユースラリーをはじめとする青女の活動がJR連合運動に参画することのきっかけづくりとして、非常に重要なものであるとの認識が示されました。

参加者からは、目指すべき方向性が共有することができ、今後の取り組みに活かせる有意義な機会となったなど感想があり、実りある学習会となりました。



ユースラリー開催へ向けてスタート

JR連合青女では、全国の仲間との環を広げるため、年に一度ユースラリーを開催しています。

9月に開催した第28回定期総会において、次回は九州地区で行うことが決定しました。そして、11月16日(土)に第1回実行委員会を開き、JR連合九州地協青女の青山議長を事務局長に選出し、第25回ユースラリー開催に向けて始動しました。皆様の参加をお待ちしております！

JR連合では「facebook」「twitter」「instagram」を開設しています！アクセスしてネ！

